

◇ 令和2年度指定管理者事業評価書

施設名	笠縫東まちづくりセンター			指定管理料	利用料金	支出	経理の状況	施設運営の方針
施設所管課	まちづくり協働部	まちづくり協働課	初年度	17,858,000円	262,000円	14,027,597円	収入は、事業実施に係る制限もあり目標に達しなかったが、施設維持管理経費以外の部分で節減に努め、総合的には堅実な運営が進められた。	住民が住み続けたいと願うまちづくりの諸事業を展開し、豊かで住みよい地域づくりを推進する。
施設HPアドレス	www.machikyouto.jp/kasanuihigashi		2年目	17,889,000円	262,000円			住民が住み続けたいと願うまちづくりの諸事業を展開し、豊かで住みよい地域づくりを推進する。
指定管理者名	笠縫東学区まちづくり協議会		3年目	18,022,000円	262,000円			住民が住み続けたいと願うまちづくりの諸事業を展開し、豊かで住みよい地域づくりを推進する。
指定期間	令和2年4月1日 ~ 令和7年3月31日		4年目	18,075,000円	262,000円			住民が住み続けたいと願うまちづくりの諸事業を展開し、豊かで住みよい地域づくりを推進する。
評価対象期間	令和2年4月1日 ~ 令和3年3月31日		5年目	18,241,000円	262,000円			住民が住み続けたいと願うまちづくりの諸事業を展開し、豊かで住みよい地域づくりを推進する。

●総合評価の基準		
5	☆☆☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆☆である
4	☆☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆である
3	☆☆☆	評価基準の最も多い評価が☆☆☆である
2	☆☆	評価基準の最も多い評価が☆☆である
1	☆	評価基準に☆が1以上ある

○その他の項目	
公募・非公募の別	非公募
使用料・利用料金制の別	使用料
指定管理者による運営開始日	平成29年4月1日
施設の供用開始日	
指定管理導入前の運営形態	市直営

◆総括評価を概括した総合評価の所見(成果・改善等)

●指定管理者の総合自己評価… ☆☆☆☆	●市(施設所管課)の総合評価… ☆☆☆☆
<p>2年度の管理・運営に係る事業目標(年度当初に記入)</p> <p>第2期指定管理のスタートの年として、各事業の計画および実施に際し、今まで以上の効果が得られるよう創意工夫を図る。</p>	<p>事業目標および管理・運営に対する評価(事業年度終了後記入)</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響で、年間利用者数は大きく減少したが、地域住民主体の野菜無人販売所の運営など地域のまちづくり拠点として多様な事業・施設活用に努められた。また、情報発信においては、地域情報やHP上で積極的に発信が行われた。HPでの情報発信では無人販売所の野菜の入荷情報も発信されるなど工夫されながらサービス向上に努められた。</p>
<p>事業目標および管理・運営に対する自己評価(事業年度終了後記入)</p> <p>施設の臨時休館(5月)という経験したことがない事態となり、全ての事業運営の具体的な推進方法を再考する良い機会でもあった。今までとは違う方法により目的等を変更せず実施する方法を考案することのむつかしさを感じた一年であった。工夫等はしたが、年間利用者数等は大きく減少した。</p>	<p>公募・非公募、使用料・利用料金制の導入についての効果の検証</p> <p>(応募状況等(非公募の場合は、非公募理由等))</p> <p>地域に根ざした文化芸術活動を通じ、本市の文化芸術の振興を図ることが出来る団体は現指定管理者以外にはなく、非公募による選定とした。</p> <p>(利用者数の状況等)</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、昨年度と比較して貸館件数や利用者数の減少となった。</p>

◇施設に係る主な指定管理業務	
<ul style="list-style-type: none"> 施設の管理運営に関する業務 施設および備品の維持管理等 センター条例第3条に掲げる事業の実施に関する業務 組織の管理運営および提出物等にかかる業務 	

◆評価基準	
☆☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりもはるかに優れた内容である
☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、概ねその水準に沿った内容である
☆☆	仕様書・協定書等の基準は遵守し、若干の改善が必要な内容である
☆	仕様書・協定書等の基準を遵守しておらず、改善が必要な内容である

施設の管理運営に関する業務の基準			
評価項目1	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価
	上半期評価	施設の臨時休館(5月)という経験したことがない事態となり、利用状況は減となった。新型コロナウイルス感染症対策を進めるにも、店頭での商品不足により苦慮した。	上半期評価
	☆☆☆		☆☆☆☆
	下半期評価	新型コロナウイルス感染症の影響により自主教室等の利用団体が自主的に利用の自粛措置を取られることが増加し、施設の利用状況は大幅な減となった。感染症対策については、機器や消毒液等の消耗品の店頭購入もほぼ安定してきた。	下半期評価
	☆☆☆☆		☆☆☆☆

施設および備品の維持管理等			
評価項目2	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価
	上半期評価	24時間の警備に努めるとともに、日頃の衛生環境の保持に加え、感染防止対策のため備品等にはこまめな消毒を心掛けた。駐車場については、第二給食センターの建設に係る関係車両の出入りが頻繁で駐車場管理は多少困難。	上半期評価
	☆☆☆		☆☆☆
	下半期評価	24時間の警備に努めるとともに、日頃の衛生環境の保持に加え、感染防止対策のため備品等にはこまめな消毒を心掛けた。駐車場については、第二給食センターの建設に係る関係車両の出入りが頻繁で駐車場管理は多少困難。	下半期評価
	☆☆☆		☆☆☆

センター条例第3条に掲げる事業の実施に関する業務の基準			
評価項目3	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価
	上半期評価	臨時休館となった5月は、駐車場において住民主体の野菜等の「無人販売所」の運営がされた。事業等の実施は、感染対策を十分に講じ、できる範囲で開催した。地域での諸事業の中止が増加の傾向にあったが、何とか毎月1回の情報誌の発行ができた。ホームページには、毎日の野菜等の入荷情報や施設の利用状況を更新するなど、サービスの向上に努めた。	上半期評価
	☆☆☆☆		☆☆☆☆
	下半期評価	事業等の実施は、感染対策を十分に講じ、できる範囲で開催した。地域での諸事業の中止が増加の傾向にあったが、何とか毎月1回の情報誌の発行ができた。ホームページには、毎日の野菜等の入荷情報や施設の利用状況を更新するなど、サービスの向上に努めた。	下半期評価
	☆☆☆☆		☆☆☆☆

組織の管理運営および提出物等にかかる業務に関する基準			
評価項目4	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価
	上半期評価	年間を通して適正な職員配置(防火管理者含む)に努めた。組織として管理運営を進めるため、主な研修は毎日のOJTを進めてきた。	上半期評価
	☆☆☆☆		☆☆☆
	下半期評価	組織として管理運営を進めるため、主な研修は毎日のOJTを進めてきた。中間支援組織が開催する研修にも積極的に参加している。例年2月の1か月間を利用者アンケートを実施する月と定め実施している。	下半期評価
	☆☆☆☆		☆☆☆